

橘風堂々

同窓



母校校舎シリーズ(24) 公開文化祭入場門
(平成30年8月26日)

題字 菅野葉月さん
(書道部2年)

発行
福島県立
橘高等学校同窓会
(福島女子高等学校同窓会)
発行人
坪井有子
発行所
福島市宮下町7-41
電話(024)535-3395
FAX(024)535-3397
会員数
37,918名
(2018.3現在)
母校創立121年



次の世代に向かって

同窓会会長 坪井有子
(昭和41年卒)

平成の時代が終わり、間もなく新しい年号になります。橘高校同窓会は明治・大正・昭和・平成と百二十一年の長い歴史を繋いできました。これは何といっても同窓生の強い絆がこの会を支えてくださったことだと思います。時代の変化に伴い、会員の同窓会に寄せられる思いもいろいろと変わってきておりますが、いつの時代も、それぞれの人生の一番多感なときを同じ「福女・橘高校」で過ごしたことが年代を超えて繋がっているのが同窓会ではないでしょうか。同窓会会員同士の交流が活発になることが発展し続ける原動力になると思っております。この会報「同窓」を毎年会員の皆様にお届けしておりますが、今の会の様子をお知らせすることで、ひととき同窓会を思いだすきっかけとして頂ければとてもうれしく思っております。

同窓会活動のため、十年に一度の当学年の総会案内や、会報の会員の皆様に確実にお届けするためには会員名簿の把握が大事になります。本会の会員名簿は平成二十二年に発行して以来八年を経過しております。毎年会報の発行時や、総会開催時に名簿の訂正通知をいただき、最新の名簿に書き換えておりますが、その発行とメンテナンスは名簿の発行会社サラトに依頼しております。発行から十年間は無料のメンテナンス期間で依頼してまいりました。その期間が間もなく終了となることから、今回、名簿を発行することを評議委員会で決定いたしました。個人情報に敏感になっている時代であり、なかなか難しいとは思いますが、同窓会活動の基本となる名簿の発行は、必要であると考えた結果であります。会員の皆様にはどうぞこの事情をお汲み取りの上、ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

総
会
報
告

平成三十年度同窓会総会は、六月十六日(土)福島グリーンパレスにて、招待者の恩師・母校教職員・各支部代表・新幹事・「八」のつく当番学年等、総勢二百六十名の参加で開催されました。



桑野(二階堂)美智子(S38卒)さんの日本舞踊「青海波」



マイロードを歌う新幹事のみなさん(H28卒)

恩師佐藤義春先生の挨拶、河原田
した。
東司先生の乾杯で懇親会へと移り、

美味しい食事と思ひ出話で盛り上がり
楽しい余韻に浸りながら散会しま
した。



校
門

校長 吉村 淳

同窓生の皆さま、校長の吉村淳です。平成三十年四月に橘高等学校に着任いたしました。よろしくお願ひいたします。同窓会の皆さまには、昨年度、本校創立百二十周年記念事業に対しまして、多大なるご協力ご支援をいただきました。無事、記念事業を終えることができました。ありがとうございました。

先日、朝の立哨を生徒昇降口前で行っていただきましたところ、年輩のご夫婦が来校されました。お話を伺いますと、奥様が昭和二十三年本校を卒業された同窓生ということでした。

今年八十八歳とは見えないしっかりとした足どりで、ご夫婦そろってお出でになりました。福島高等学校があったところ、特に校門が見たいと長く思われていたそうです。校門を見られて良かったと満足されてお帰りになりました。昭和二十三年と現在とは、橘高等学校への大改装があり、印象はまるで違ったので、所在地は変わらないので、正門の位置もほとんど同じかと、記念誌などを読み返してみました。写真で見ますと昭和二十年代から昭和後期・平成初期、校舎や校門は変わっ

ても、校門からのつくりが同じように感じられました。校門から玄関までの間に多行松があり、玄関入り口前には黒松が配置されていました。現在の橘高等学校は、校門から玄関までかなり離れたつくりになっていきます。実際に歩いてみますと、校門から入りまして、右はセミナーハウス(同窓会館)、左はメモリアルロード、多行松がたくさん植えられているこの道を歩く、右が玄関そして左奥に黒松が配置されています。なぜこの道がメモリアルロードなのか分かったような気がします。高女時代からある伝統の植栽を移動し、そして配置は福島女子高校時代と同じにしたのだという制作者の意図が感じられました。同窓生の皆さま、宮下町七ー四十一橘高等学校にお立ち寄りください。お待ちしております。

平成30年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計予算書

収入金額 2,487,438円 自 平成30年 4月1日
支出金額 2,487,438円 至 平成31年 3月31日

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 助成費, 慶弔費, 通信費, 旅費, 事務費, 維持費, 積立金, 予備費, 合計.

(執行にあたっては項目間の流用を認めるものとする)

平成29年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計決算書

収入金額 2,533,738円 自 平成29年 4月1日
支出金額 1,876,300円 至 平成30年 3月31日
次期繰越金 657,438円

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 助成費, 慶弔費, 通信費, 旅費, 事務費, 維持費, 積立金, 予備費, 合計.

監査いたしました結果、会計は適正に執行され、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成30年 4月4日 監査 橘 洋子 誉田 文子

同窓会館たちばなセミナーハウス維持管理費報告

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 維持経費, 施設維持管理費, 合計.

収入金額 8,417,585円
支出金額 521,183円
次期繰越金 7,896,402円

平成29年度同窓会積立金

Table with 2 columns: 積立金, 1,608,204円

平成29年度同窓会基金

Table with 2 columns: 積立基金, 10,029,610円

平成29年度同窓会協力金年代別納入状況

Table with 3 columns: 卒業年度, 人数, 金額. Rows include 昭和元年~10年代, 20年代, 30年代, 40年代, 50年代, 60年代, 平成元年~9年代, 10年代, 20年代, 合計.

(H29.3.16~H30.3.15)

平成29年度同窓会協力金

自平成29年4月1日
至平成30年3月31日

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 協力金, 預金利息, 前年度繰越金, 合計.

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 会報発行費印刷代, 発送料, 需用費, 合計.

収入金額 11,973,660円
支出金額 3,131,915円
次期繰越額 8,841,745円

監査いたしました結果、会計は適正に執行され、上記の通り相違ないことを認めます。

平成30年4月4日

監査 橋 洋子
誉田 文子

同窓会の主な行事

Calendar table for 平成30年度 with columns for month and day, listing various events like 会計監査, 役員会, 評議員会, etc.

新役員紹介

本年度は役員改選時にあたり、総会において次の方々が出選され、会長より会計・書記・事務局長が指名されました。

Table of new officers: 会長 坪井 有子, 副会長 松川 佑子, 監査 肥沼 眞紀子, etc.

新学年幹事

Table of new year officers: 組 1 浅野 瑠菜, 組 2 田中 涼太, 組 3 内田 美来, etc.

寄付金・寄贈品紹介

◎遺志金 尾形(長谷川)ミチ様
◎寄付金 瑞 瑚 会 様
◎昭和35年卒 瑞 瑚 会 様

お慶び

◎昭和41年卒 今野(金子) 滋子様
◎昭和41年卒 坪井(鈴木) 有子様
◎昭和44年卒 丹野(坂野井) 豊子様

敬 弔

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

Table of obituaries with columns for name, date of death, and family members.

Table with 2 columns: 削除, 訂正. Contains names and dates for corrections.

輝く“橘”全国の舞台上

今年度は、運動部から文化部まで幅広い分野での活躍がみられました。



陸上部
(村上大樹君)



管弦楽部

部活動報告

◆全国大会出場◆

囲碁部

▽第42回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
団体戦 半田紘太郎 青柳南美
佐藤実穂

▽第42回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会
男子団体戦 半田紘太郎 蓬田陽規
熊谷充基 菅野 諒

女子団体戦

佐藤実穂 青柳南美

伊藤葉月 藤田幸子

男子個人戦 半田紘太郎 蓬田陽規

▽第13回全国高等学校囲碁選抜大会
女子団体戦 青柳南美 佐藤実穂

扇田 凜 菅野乃恵琉

女子九路盤戦 佐藤実穂

書道部

▽第42回全国高等学校総合文化祭書道部門
柴田姫那

文芸部

▽第42回全国高等学校総合文化祭文芸部門
散文部門 鈴木芳理



書道部 (柴田姫那さん)



卓球部 (木村真子さん・高橋幸暉)

放送部

▽第65回NHK杯全国高校放送コンテストテレビドキュメント部門

陸上部

▽平成30年度全国高等学校総合体育大会・秩父宮杯第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
男子やり投げ 村上大樹

▽第37回国民体育大会
少年女子A 100mハードル 高橋美帆

管弦楽部

▽日本学校合奏コンクール2018全国大会グランドコンテスト

卓球部

▽第46回全国高等学校選抜卓球大会
男子シングルス 高橋幸暉
女子シングルス 木村真子

なつかしの あの顔の顔



昭和35年卒 喜寿記念珊瑚会 於：ホテル辰巳屋 (H30.10.25)



昭和26年卒 第20回 からのたち木曜会 於：ホテル辰巳屋 (H30.9.13)



文芸部(鈴木芳理さん)



放送部(代表)



囲碁部(競技風景)

平成30年度 入試合格状況

(4月1日現在)

Table showing admission test results for public, private, and university schools. Columns include school name, current status, and graduation rate. Rows are categorized by school type: National University, Private University, and University School.

センター試験では、難化した国語とリスニングの影響を含め国数英で苦戦した。理社に関しては、全国平均を大きく超えた科目が多かったものの、五教科総合の平均点は前年度より低下した。しかし、センター試験後の各大学の個別学力試験では大いに健闘し、最終的な国公立大学の合格者数は一六〇名となった。これは過去十年では最多である。

国公立大合格者数が増加した主な要因としては、担

平成三十年三月卒業生の大学合格状況と進路状況

任との面談を重ね適切な「二次出願」ができたこと、授業や添削指導等に最後まで意欲的に取り組んだこと、三月の「後期・中期日程」まで諦めることなく挑戦した者が多かったこと等が挙げられる。さらに、「推薦・AO入試」にも積極的に挑戦し、例年以上の合格者を出すことができたことも大きい。一方で、東北大等の難関大では苦戦した。これらの合格にはセンター試験での高得点に加え、個別学力試験に対応できる高い学力が必要である。まず、二次までに家庭学習の習慣を身につけ、基礎基本を定着させることが不可欠となる。早期に意識を変え、具体的な行動を開始すべきである。

※ 表中の数字は、「合格者数」である。

※ 表中の「過年度卒」欄の合格者数については、報告のあった人数を示している。



FCからたち会 就学支援金贈呈式 於：ホテル辰巳屋 (H30.11.13)



昭和36年卒 はじっこ会 つちゆの集い 於：土湯温泉 福うさぎ (H30.10.16)

なつかしき恩師



EXCELSIOR!

河原田 東司

平成14年4月〜平成22年3月
（白河市在住）

現在、白河文化交流館コミネスに副館長として元気に勤めています。昨年の同窓会総会では、懐かしい先生方や橘一期生の諸君と再会する機会をいただき、本当にありがとうございました。とても貴重なひとときでした。

私が初めて赴任したのは福女最後の年、まさに大きな変革期でした。年度末に引越越しを行い、生徒達と重い荷物を新校舎へ運んだことを思い出します。四月に新生「橘高校」が誕生、校名と校歌が変わりました。制服がなくなつて

感心させられ、頭が下がる思いでした。四期生担任の時、文科省の「SEITHI」に指定されて、英語指導に特化したプログラムが実施されました。英語科の教員は授業に「Orbit Method」を導入・実践し、生徒のモチベーションもアップして、成績向上に繋がりました。また、姉妹校となったオーストラリア、アデレードの「Tachilla Lutheran College」への海外研修に二十四名の生徒達と参加しました。三週間のホームステイを通して、彼らは語学力と国際感覚を身につけただけでなく、

人間的にも大きく成長したのが分かり、嬉しく思いました。自分も生徒達から、多くを学ばせてもらいました。思い出は尽きません。橘高校は「自主性」と「創造性」を育む素晴らしい学び舎です。と同時に、英語教員の私に、英語教育の新たな方向性と、意識改革の必要性に気づかせ、自己研鑽の機会を与えてくれました。ここの八年間の積み重ねが、私の以後の英語指導キャリアに大きく影響を及ぼしたことは言うまでもありません。今でも感謝しています。最後に、貴校の更なるご発展を心よりお祈りいたします。『Excelsior!!』

（※Excelsior＝「より高く」アメリカニューヨーク州の標語）

卒業生の活躍

故郷の空



マツト(清野)和子 (昭和59年卒)

私は今、絵本の展示会に参加するため、パリにいます。十六歳の時の私が、

パリで母校に文章を書いている自分を想像できたでしょうか？まさ

か！

高校生の私は、朝、自転車通学で、吾妻連峰を見上げるたび「智恵子はほんとうの空って言ったけど、でもここは私のいるところじゃない」そんなことを思っていました。

絵を描くのは好きだけれど、それを仕事にできるとも、そもそも美大に入れるとも思わなかったの

で、好きな歴史と英語を一緒に勉強できそうな大学に行きました。合格の報告に行った時、職員室中で先生たちが「よくやった！よくやった！」と手を握って喜んでくれたのを覚えています。たぶん、在学中の成績からは信じられないラストスパートでの合格だったの

でしょう。大学卒業後は一念発起、ロンドンへ。在英二年目にグラフィックデザインの学校に入学、その後結婚、出産、帰国。様々なことがあ

り、札幌在住もわずか二十年。夢だった絵本も出版できました。そして思うのは、二十五年も一つのことを続けられればそれなりに形になるということ。だから二十五年続けられることを見つけた私は幸せです。

絵本を出版してから、原画展などで福島に帰る機会もできました。こんな私を心から歓迎してくれる故郷、いつも感謝の気持ちでいっぱいになります。あのころと変わらない吾妻連峰を見上げると、故郷の空は今では「いつてらっしゃい、いつてらっしゃい」と言ってくれているように思えるのです。

マツト和子氏プロフィール

イラストレーター・絵本作家。一九六五年福島県生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業。ロンドンでグラフィックデザインとイラストレーションを学ぶ。イラストレーターとして活動しながら、札幌で二〇〇三年から友人と焼き菓子と雑貨の店を始める。現在、版画を勉強するため、武蔵野美術大学通信課程在籍。

アートの力

二瓶野 枝 (平成10年卒)



私は現在、コンテンポラリーダンスサー／振付家として活動すると同時に、若手育成や教育における身体表現活動なども行っています。

思い起こせば、福女を受験するために大好きだったバレエを辞め、もぬけの殻のようになっていた私が再び全身を燃やしたのが橘

祭でのステージ発表やクラス発表でのパフォーマンスでした。そして、進路で悩んでいたとき、お茶の水女子大学に舞踊を学べる学科があると知り、世界が明るくなりました。そこからは無我夢中で勉強し、実技のある二次試験にむけてバスケット部が使う体育館の片隅で無我夢中で踊りの練習もしました。合格した大学生活は予想以上に楽しく、多くの学びがありました。大学時から機会に恵まれ、国内外様々な舞台上立つこともでき、さらにはJAXA×お茶の水女子大の無重力舞踊実験にも携わることができました。現在はソロ活動に加え、ダンスカンパニーを主宰し舞台を創っています。芸術の世界に飛び込み、常に芸術がもたらすエネルギーを実感するとともに教育における芸術の位置付けや生活の中での芸術の必要性などを考察し、あふれるばかりのモノや情報のなかで必要とされるものを追究しています。

私のモットーは「やらずに後悔するならやってみよう」です。そうして今の自分が居ます。人生は一度きり、躊躇している時間の方が勿体無い、常に挑戦していたい、そう思っています。育兒も舞踊活動も一杯やっています。

二瓶野枝氏プロフィール

コンテンポラリーダンスサー／振付師／ダンスカンパニー／ネクスト主宰。お茶の水女子大学舞踊教育学コース卒業。国内外数々の舞台に立つ。振付指導も行い、後進の指導にも力を入れている。二〇一四年文化庁新進芸術家海外研修員としてドイツ・フォーサイスカンパニーで研修。大学・専門学校・幼稚園教諭講習等講師。出産を機に東京から松本へ移住。

総会のお知らせ

とき

2019年6月22日(土)
11:00~14:30

ところ

福島グリーンパレス
(福島市太田町13-53)
TEL.024-533-1171

当番学年

卒年に9のつく学年

内容

総親会

会費

5,000円

2	11	10	10	10	10	9	7	6	6	5	月	
20	13	25	14	10	8	13	16	23	9	10	日	
平成31年 福島市役所たちばな会研修会 クラシックギター演奏会 古閑裕而記念館にて開催	FCからたち会総会 ホテル辰巳屋にて開催 14名出席	昭和35年卒 喜寿記念珊瑚会 ホテル辰巳屋にて開催 66名出席	昭和35年卒 喜寿記念珊瑚会 ホテル辰巳屋にて開催 39名出席	東京支部総会・懇親会 渋谷東武ホテルにて開催	福島市役所たちばな会 ホテル福島グリーンパレスにて開催	生田流箏曲宮城社妙祐会50周年記念箏曲演奏会 とっほう・みんなの文化センターにて開催 CD「遠藤千晶箏曲の軌跡」 発売(レクチャーエンターテインメント)	昭和26年卒 20回からたち木曜会 ホテル辰巳屋にて開催 11名出席	遠藤千晶X日本フィルハーモニー交響楽団 ザ・コンサート in 福島 とっほう・みんなの文化センターにて開催	二本松支部(福松会) 鮎富にて開催 25名出席	郡山支部(福松会) アンジエ口開成店にて開催 25名出席	昭和26年卒 19回からたち木曜会 ホテル辰巳屋にて開催 9名出席	平成30年

同窓

MEMO ニュース

激励金贈呈式

今年度は五つの文化部(書道・文芸・放送・囲碁・管弦楽)と二つの運動部(陸上競技・卓球)の全国大会出場が決まりました。
贈呈式当日、坪井会長が激励の言葉をかけ、選手代表の村上大樹さんが全国大会への力強い決意を述べました。



激励金贈呈式 於: 校長室 (H30.7.4)

支部だより

東京支部

今年も大盛況!!

中田(山崎)恵子(昭和56年卒) 平成三十年十月十四日、渋谷東武ホテルにて東京支部同窓会総会 & 懇親会を開催しました。昭和二十五〜平成二年卒業の三十九名が出席し、今回も楽しいひとときを過ごしました。本部からご出席いただいた副会長渡部教子様のご挨拶、副会長肥沼真紀子様の乾杯のご発声に続き、卒業生松井由美子様によるオペラ「乾杯の歌」に



東京支部総会

乗せて華やかに始まり、お楽しみはPRコーナーです。オペラ、タング、童謡の音楽三名の歌に魅了され、和ドレス製作を手掛けている卒業生によるファッションショー、各テーブルの皆様による近況報告に時間も忘れ、最後は全員で懐かしい童謡や校歌を熱唱し大いに盛り上がる中、次回の再会を約束して幕を閉じました。

二本松支部

二本松(福松会)総会だより

大松(桜田)良子(昭和28年卒)

福松会の歴史は古く、私が会長を受けた時、すでに五十周年で、代々の会長の役を引き継ぐことの重大さに身の引き締る思いでした。二年に一度の総会。今年がその年です。

会員数現在、昭和十年卒〜昭和六十三年卒の百三名、各支部役員十四名にて、会費徴収や、連絡等をお願いしております。

三十年六月二十三日、会場「鮎富」にて、同窓会会長坪井様、副会長肥沼様に同席いただき、出席人数二十五名にて総会を実施しました。

総会後、懇親会が開かれ、伊藤慶子さんの指導で「学生時代」を皮切りに久しぶりに多くの歌を歌いました。

その後フラダンスの懸田幸子先生の指導で、全員フラガールに変身して会場いっぱい踊りました。

二年後にまた逢いましょうと、お互いの健勝を祈りつつ散会となりました。



二本松支部福松会

支部一覧

支部名	支部長	卒年
東京(事務局)	山口(渡邊) 洋子	昭44
愛知(事務局)	飯沼(斎藤) 了子	昭46
郡山福松会(事務局)	安藤(宇津木) 幸恵	昭35
会津(事務局)	渡邊(佐藤) 淳子	昭37
須賀川(事務局)	渡邊(渡辺) 道子	昭33
二本松福松会(事務局)	高橋(鈴木) 信子	昭40
本宮	佐藤(山崎) 久子	昭33
保原	佐藤(二階堂) 浩子	昭37
川俣	須田(遊佐) 良子	昭33
飯坂	大松(桜田) 良子	昭28
福島県庁たちばな会(事務局)	渡辺(渡辺) 道子	昭36
福島市役所たちばな会(事務局)	菅野(関根) 恵子	昭34
	丹山(栗原) 由美	昭40
	斎藤(佐藤) 幸子	昭18
	佐々木(佐藤) 米子	昭30
	吉成(橋) 宣子	昭59
	香野(半野) さかえ	昭54
	小野(丹治) 美弥	平3

学年だより

老いても絆!

阿久津(橋)セイ子 (昭和28年卒)



私達の高校生活三年間は超学年制で、入学当初から一〜三年生まで学年の枠をはずして34ホームルームに分かれていました。授業も各自の単位の取り方で上級生と机を並べることもあり、同学年としての結束や意識の持ち難い学年でありました。

前回の総会をきっかけに、場所・日時を一定にし「福寿草の会」として近在の有志二十数名で毎年集って来ました。

今回、総会会場に入り孫より若い青年達の姿に一瞬戸惑いましたが、共学になっての卒業生と気が付き、今昔の感、新たでした。最後に三世代の校歌を聴き「思い出そう青春の影、永遠の輝きマイロード」の若々しい歌声に自身のマイロードを重ね、若き日に想いを馳せ心温まる思いで家路につきました。

あれから五十六年

大堀(芳賀)須美子 (昭和38年卒)

巡り巡っての学年幹事役を「今は元気だから」と引き受けて、第

一回会議に出席しました。何と総会に一度も出席していなかった初幹事四名からの出発でした。順次声をかけ合い他クラスからの幹事を増やしつつ、総会には四十二名の会員が出席いたしました。

五十六年ぶりに会う人もいたの顔を見た途端、高校三年生そのままの気持ちに切りかわり、共に若やいだ時間を過ごしました。入学年の一月十五日体育館火災により、私達の入学式や運動会は近くの福島商業高校(現市民会館)で行った等、思い出話に花が咲きました。アトラクションは桑野(二階堂)美智子さんの日本舞踊「青海波」。格調高くしっとりとした見事な舞に感懐しました。



反省会では十年後も続けて幹事を務められるよう、お互いに元気でいましてうと誓って散会いたしました。

懐かしき友との再会

八城(鈴木)恵美子 (昭和48年卒)

「キヤーお元気？」まずはこの宝塚にも負けない美声があちらこちらで聞こえてきました。そうです、グリーンパレスの受付ロビーは一瞬にして四十六年前の福女の校舎に、タイムスリップしてしまいました。校歌斉唱では懐かしく思い

ながら自然と歌っていました。そして現在の校歌との時代のギャップも感じました。確かに歳月は流れてはいるのだと再認識しました。懇親会に入ってから私達の福女愛は変わることもなく思い出話、現在に至るまでのストーリーは時間がいくらあっても足りない程盛り上がっていました。終了後はクラスでの二次会に参加する人、帰る人等様々でしたが、気分はまだ女学生のまま帰路に着きました。反省点としては今回の参加が二十九名と少なかったのが残念でした。次回は全クラスからの幹事の方のお手伝いをお願いしたいと思います。十年後には一人でも多くの皆様と総会でお会いできることを祈っております。

懐かしき友よ

原田(佐藤)純子 (昭和58年卒)

三十五年ぶりの仲間との再会。ロビーではお互いにネームブ



レートを見せ合い、あちこちからワットという歓声が湧き上がっていました。

今回幹事は、私も含め初めての方ばかり。それでも、十年に一度しかないこの機会に、なるべく多くの友に会いたいという一念で進めて参りました。その思いが通じたのか七十六名もの方に参加いただき大変うれしく思いました。実はこの時を皆が待ち望んでいたのではないのでしょうか。

福女の校歌を思いっきり歌い、恩師の佐藤義春先生からまるで授業を受けているかのようなスピーチをいただき、気分はもう福女生。ただ一つ残念だったのは時間が足りなかったこと。次回は二次会もやりましょう！皆さんのご協力宜しくお願いします。

橋一期生

高橋(下山田)里美 (平成18年卒)

今回、8のつく学年の同窓会総会だということで、本来幹事ではない遠方(郡山や棚倉から!)の方にもご協力いただき、どうにか初め

ての総会当日を迎えました。橋一期生として過ごした三年間を共有した仲間たちとの再会は、非常に感慨深く、本当に楽しいひと時でした。恩師の河原田東司先生、松浦芳明先生、伊藤あゆみ先生、佐藤繁先生にもご出席いただき、嬉しく思います。



校歌斉唱の際、福女の先輩方の席の方からも橋高校の校歌の歌声が聞こえてきて、大変心強く、嬉しく感じました。十年後は私も、福島女子高校の校歌をもっと大きな声で歌おうと決めています。

同期生の皆さんがどんなライフステージにあるときにも、帰れる場所の一つが同窓会になれば嬉しいですね。幹事の皆さん、十年後よろしくお願います。多くの仲間が集える場になりますように。

あとがき

在校生や卒業生のすばらしい活躍を同窓生として誇らしくうれしく思いながらの編集作業となりました。

同窓生どうしの交流をより深めるためにも、名簿作成へのご協力をお願いします。

振込用紙の通信欄に寄せられた
メッセージを掲載します。

会員メッセージ

10月に100歳を迎えます。子供達に助けられて元気に暮らしております。ニュースで福島の問題を見ると懐かしく思い出しています。

S 10卒 佐藤(佐藤)キミ

「音もなく来て音もなく去る今日なれど 何時か途絶えんその訪れは」96歳に感謝。

S 13卒 浅野(鈴木)千代

私の青春時代は明日の命の保障もないものでしたのに90歳までも永らえ感無量です。平和がつづくことのみ祈っています。

S 18卒 清水(小林)節子

福島のニュースを聞くたびに心をいためておりました。19年卒の私は90歳になりましたけど元気です。

S 19卒 平賀(中嶋)正子

会えますますの御発展をお祈り申し上げます。

S 20卒 阿部(斉藤)キミ

120周年記念講演小島美子さん、素晴らしかったです。有難うございました。なつかしい時間をもてたこと感謝いたします。

S 20卒 吉野(針金)愛子

福女在学中は戦争の最中。一二年は出征兵士宅で農作業の勤労奉仕。昭和十九年秋には学徒動員で横須賀海軍工廠へ。翌二十年八月、終戦で帰省。九月から授業が開始されたものの教科書もなく、ガリ版刷りのプリントを使つての授業。ほとんど勉強せずじまいの高校生活でした。

S 21卒 鈴木(鈴木)郁子

平成26年の同窓会に昭和26年卒で出席出来た事を心の宝にして生活しており、また3・11後7年が過ぎ、総ての事に今感謝しております。少額ですが協力金でございませう。龍生派のいけばな教授として活動しております。

S 26卒 斎藤(小川)洋子

創立120周年の「同窓」ありがとうございました。母校(橋高)の発展をお祈りいたします。

S 27卒 佐藤(阿部)文子

とても楽しい同窓会、参加できて幸せでした。皆さん御苦労様でした。

S 27卒 富永(高橋)五子

懐かしく楽しかった6年間を思い、友達と話し合いました。嬉しい日でした。

S 27卒 奥山(三好)マサ

年に一度、「同窓」を通して若き日の青春が甦ります。編集に携われた方々に感謝します。

S 30卒 今野(今野)美代子

毎日暑い日が続いております。皆様お身体お大切にお過ごし下さいますようお願い申し上げます。

S 33卒 西田(西田)明美

事務局の皆様、お世話になっております。お陰様で毎年会報の到着を楽しみにしております。

S 33卒 須田(遊佐)良子

私達の通学路にあった多行松の並木が現在の橋高のメモリアルロードで素晴らしい大木になっています。31年6月17日(月)、33年卒の傘寿の会で皆でお会いしましょう。

S 33卒 橋(佐藤)洋子

今年も校門周辺の桜が見事に咲きましたね。母校の花見を毎年楽しんでおります。

S 34卒 八島(芳賀)美恵子

私は転校生で最後の一年間だけ、お世話になりました。「花たちはな34会」の写真を見せ、共に机を並べた方々も何名かおられるであろうと懐かしく感動いたしました。

S 34卒 伊藤(大光寺)薫

この度会報66号〜68号の3冊を送っていただきありがとうございます。創立120周年の記念68号には「昭和34年卒、第11回喜寿を祝う学年会」の写真があり参加してよかったと思えました。

S 34卒 小林(久間木)シゲ子

おかげ様で、元気に生活しております。

S 34卒 片町(鈴木)キク

当番学年の同窓会が終了、次の10年後の当番学年の出席に不安と期待が交叉(それには健康維持です)。

S 37卒 斉野(佐藤)厚子

創立120周年同窓会報ありがとうございました。大変懐かしく興味深く読ませていただきました。昨年協力金納入失念しました。申し訳ありませんでした。

S 38卒 曳地(横山)展子

S 38年同窓生です。55年前の花園のような「福女」を思い出します。

S 38卒 大塚(小林)育子

年を重ねることに福女時代が懐しく蘇って参ります。会員として継続できませうのも同窓会役員の方々の御努力のお蔭と感謝申し上げます。

S 39卒 両角(岡崎)泰子

私の母のことで連絡します。昭和5年卒業西組白田初枝は、平成29年11月26日、104歳で亡くなりました。亡くなるまで頭もハッキリ、トイレも一人でしてました。いつも同窓会報を楽しみにしてました。ありがとうございました。

S 41卒 鈴木(白田)幸子

いつもお世話になっております。卒業後50年以上すぎた今「お会いしましょう。今、会わないと…」というお話が出ています。でもなかなか決まりません。みんないろいろと用があるものです。夢がかないますように。

S 41卒 金子(穴田)量子

いつもふる里、母校の様子を身近に思えます。ありがとうございます。記念講演をされた小島先生のお考え、全く同感です。同窓生の皆さん、どの方も風潮に流されない生き方をされておられるのでしょうかね。今の時代だからこそ、さらに心します。

S 41卒 加藤(菅原)順子

3・11から7年が経ちました。信夫山の裾一帯の除染作業で、樹木や下草がなくなつたところが崩れ落ち、新たな危険要素が発生しています。120周年合唱部記念演奏会に参加させて頂き感謝申し上げます。斉唱校歌CDも感謝です。

S 43 卒 河野(栗城)順子

同窓会幹事の皆様、いつもお世話様です。

S 43 卒 鈴木(武田)久仁子

福島が恋しい季節となりました。

S 43 卒 川島(金子)チエ子

昨年10月1日に行われた創立120周年式典及び親睦会、感動し、また大変楽しかったです。

S 44 卒 山口(渡辺)洋子

同窓会報、毎年ご送付頂きありがとうございます。

S 44 卒 小川(鈴木)トシ子

勉強しない3年間、卒業させていただき、感謝しています。

S 47 卒 奥村(八木沼)玲子

福女は私の誇りです。ご発展を心からお祈りいたします。

S 47 卒 笠井(石井)かず枝

昨年の同窓会は7のつく学年が当番でしたが、出席できず、申し訳なく思っておりました。今回の会報で54名の参加があったことを知りました。写真を拡大鏡で拝見いたしました。あれから45年、だれ1人わかる方はおりませんでした。

幹事の方々の努力、ご苦労に感謝申し上げます。今後も橘高等学校および同窓会の発展をお祈りいたします。

S 47 卒 飯野(石井)恵津子

同窓会運営ご苦労様です。会報ありがとうございました。

S 51 卒 今野(伊藤)眞知子

武蔵野市議会議員2期目に励んでおります。

S 52 卒 西園寺(大越)美希子

古き歴史と新しい風、創立120周年の同窓を送っていただきましてありがとうございます。3年5組の時の担任の野村米男先生が亡くなられたとのこと、残念でなりません。私は、記念講演をされた小島美子先生が2006年10月15日付福島民報の日曜論壇に、生きていてよかったと寄稿されていたところを大事に台所の自分のテーブルの脇に保管し時々拝見させていたいております。昭和54年卒業の皆さん、2年後選歴を迎え、東京オリピックも開催されますので、その時は、元気に皆さんでお会いしましょう。

S 54 卒 八巻(佐藤)妙子

いつも先輩方が楽しくお集いの様子を拝読し、機会を見付けて同窓会に参加したいと思っております！

S 61 卒 宮當(齋藤)恭子

娘も今春無事、橘高校を卒業できました。良い3年を過ごさせて頂いたのも皆さまのおかげです。本当にありがとうございます。

S 61 卒 佐藤(橋内)弘子

いつもありがとうございます。

H 3 卒 遠藤 千晶

遠方で、協力できずすみません。知っている人は少ないですが、会報なつかしく眺めています。ありがとうございます。

H 6 卒 菅野 明子

会報送付ありがとうございます。出産を終え、4年ぶりの社会人。がんばります。

H 13 卒 小川(齋藤)和歌子

毎年、作成頂きありがとうございます。私事で恐縮ですが、H30・3に博士号を取得しました。精神的にも体力的にもキツイ1年でしたが、「あきらめない、くじけない、負けない」をモットーに取り組みました。高3の冬にも同じ体験をしたなあと、18歳の忍耐力が今役立つことを実感しました。

H 17 卒 沖 和砂



2020年3月に 会員名簿を発行します

前回の会員名簿発行から十年が経過し、整備が必要な時期となっています。そのため同窓会では2020年三月に新しい名簿を発行する予定で準備を進めています。

つきましては、本年五月に(株)サトトより会員の皆様宛に調査はがきが送付されます。住所氏名等変更事項をご記入の上返送ください。名簿作成にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

住所変更手続きのお願い

住所や電話番号等を変更された方は事務局までお知らせください。その際、正確を期すため書面(協力金振込用紙通信欄、ファックス、ハガキのいずれか)でご連絡下さい。

福島県立橘高等学校同窓会
(福島女子高等学校)

事務局 福島県立橘高等学校内
〒960-8011 福島市宮下町7番41号
ファックス番号 (024)535-3397